【作り方説明書】

フード付きケープの型紙

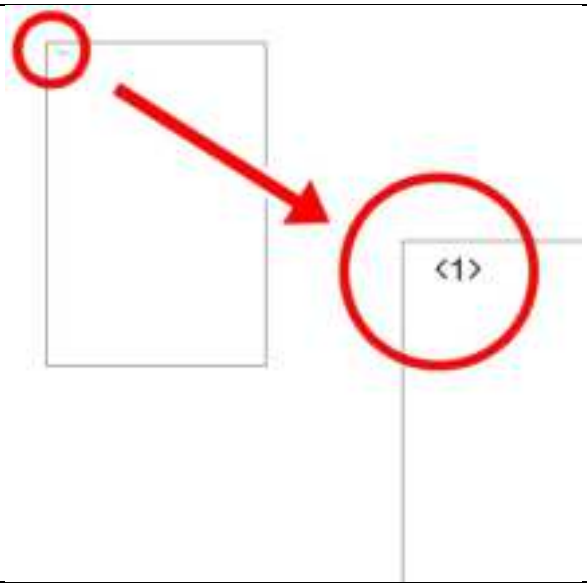
■詳細対応サイズ ・40cm ソフビ ・45cm ソフビ ・50cm ソフビ ・58cm ソフビ	■難易度 【イージー】/ノーマル/ハード/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.32mm~0.92mm	■用意するもの ・やや薄手～普通生地 ・リボン
■手縫い可否 OK	■布に書き写すパーツリスト ①②フード１　２枚→左右反転して２枚 ③④フード２　２枚→　　〃 ⑤⑥前身頃　表布２枚→　　〃 ⑦⑧　　裏布２枚→　　〃 ⑨⑩フード裏　２枚→　　〃 ⑪後身頃　表布１枚→そのまま１枚 ⑫　　裏布１枚→　　〃 ⑬⑭⑮⑯みみ(どれか一種類)　４枚→そのまま４枚 合計：16 枚　のパーツで構成

■必要な布量参考数値

01. 型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載
※①～④の右図は全型紙共通で
使用しています。
型紙の種類によって貼り合わせる
枚数、数字は違います。
枚数、貼り合わせ数字については
各型紙をご覧ください。

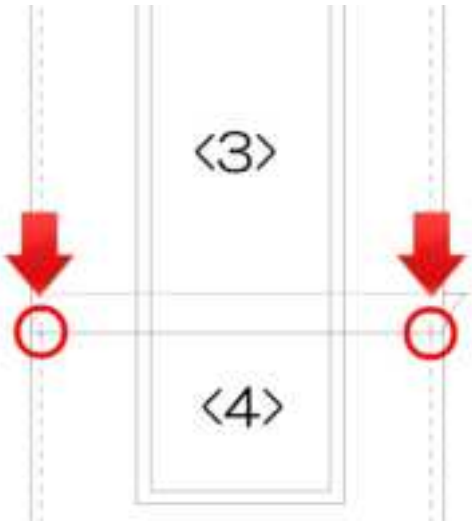


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。

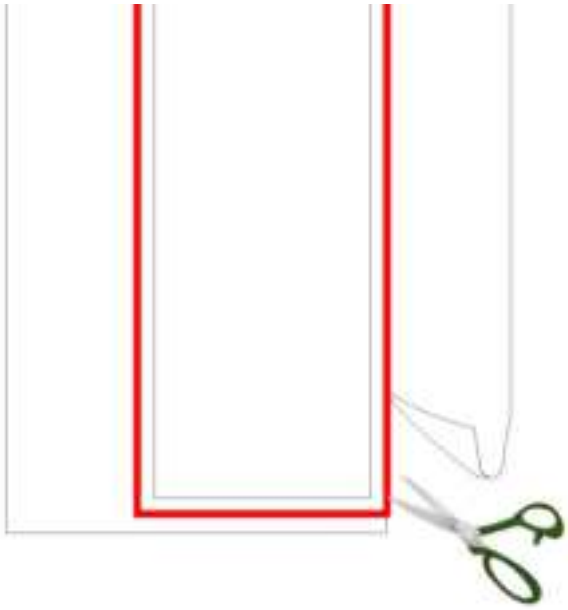
③　点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

④　<5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



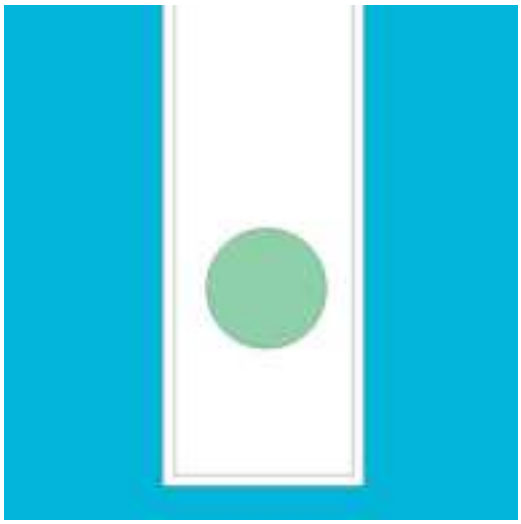
02. 型紙を切り取る。

02～07 の右図は全型紙共通で使用しています。



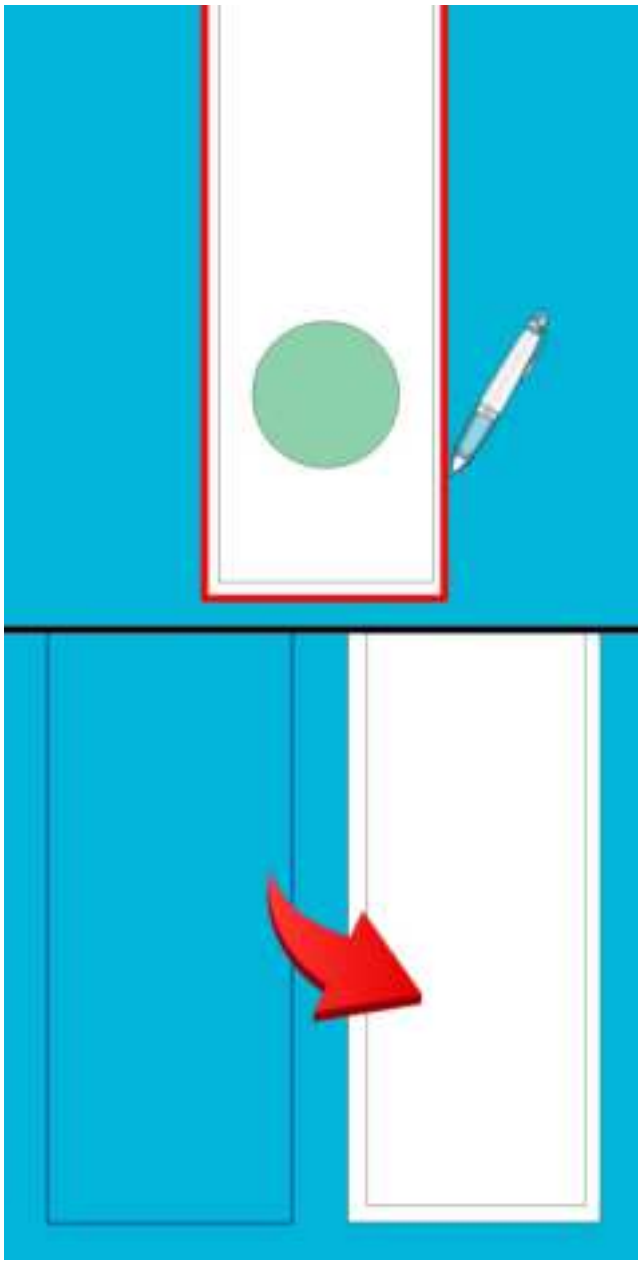
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。

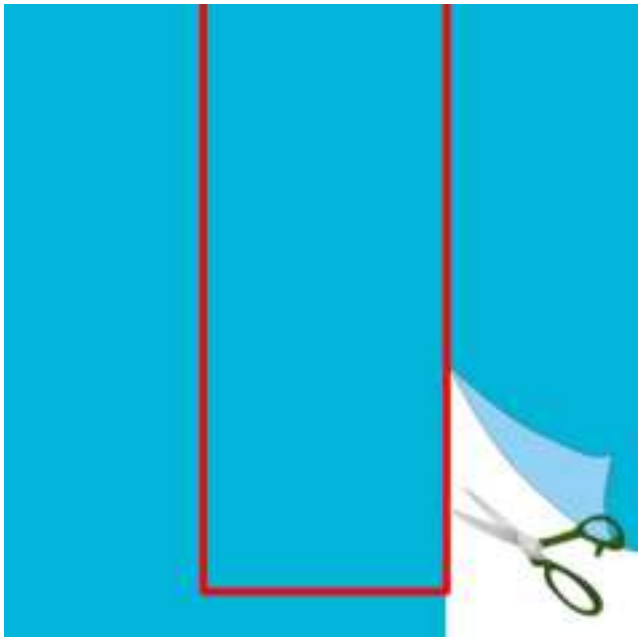


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー　水性チャコペン

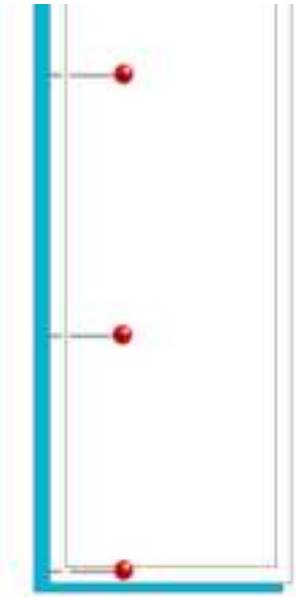


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。



07. “切りじつけ”をする。(①～⑧)

① しつけ糸を針に通し、糸が２本になる様にする。
〔玉止めはしない。

② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

A. 型紙から刺す

B. 布を刺す

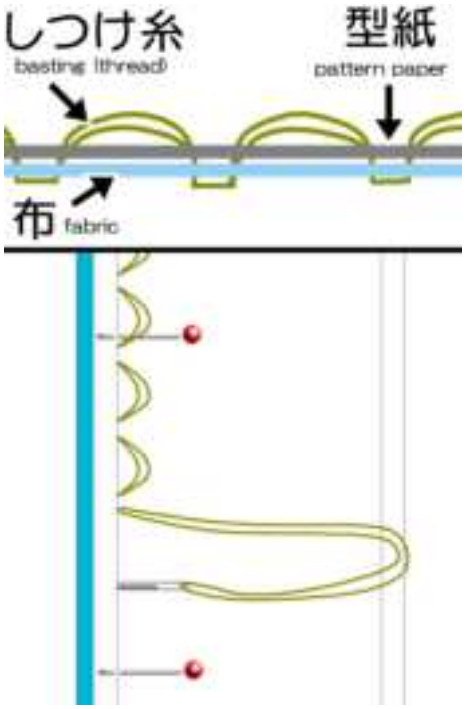
C. 0.3cm 程度すくうように縫う

D. 型紙を刺す

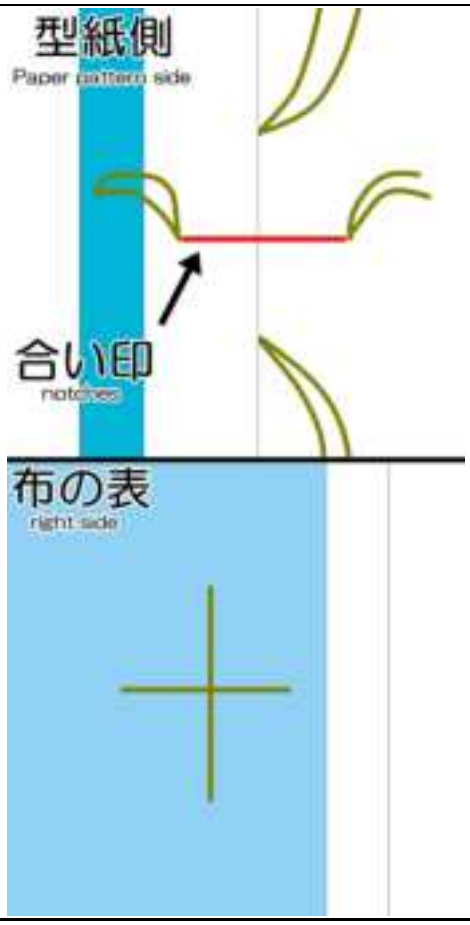
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。



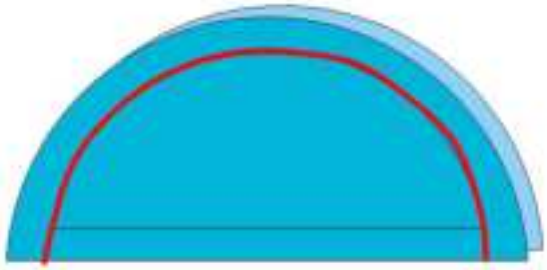
③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



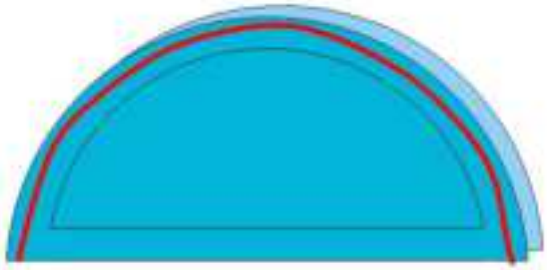
④　上側のたるませた糸を切る。	
⑤　まち針を抜く。	
⑥　糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。	
⑦　長い糸は 3mm 程度に切る。 糸を抜き取らない様に注意。	

⑧　しつけ糸が抜けない様に、アイロンか
指で糸を寝かせる。

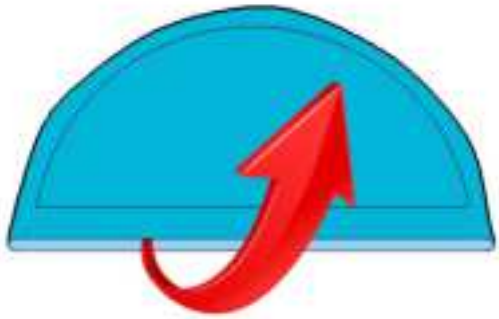
08. 表が内側になるように、耳パーツを合わせて縫う。
〔 もう一枚も同じように縫う。

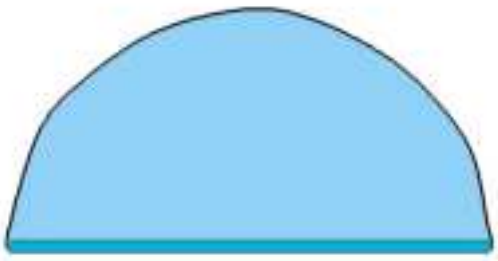


09. 縫い代を３mmくらいまでカットする。
〔 出来上がり線に近すぎると、
解れる可能性があるので注意。
もう一枚も同じように縫う。



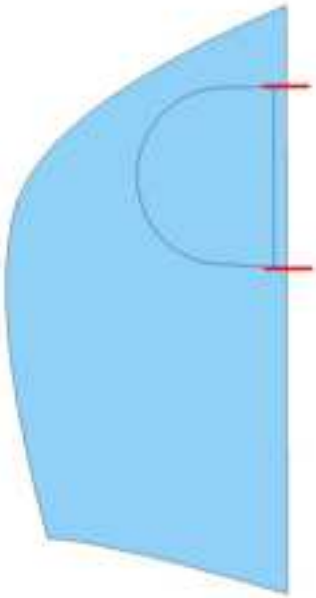
10. 表に返し整える。
〔 もう一枚も同じように整える。





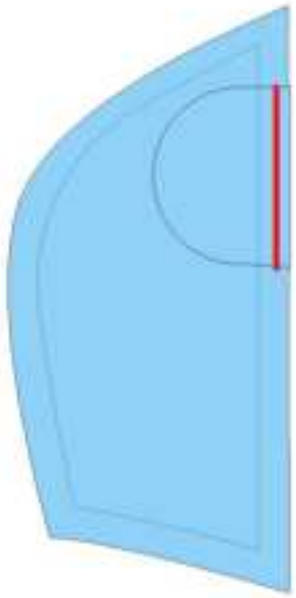
11. アイロンをかける。
〔もう一枚も同じようにアイロンをかける。

12. 表が内側になるように、
フード 1 の”耳パーツ付け位置”に耳パーツを合わせる。



13. 仮縫いをする。

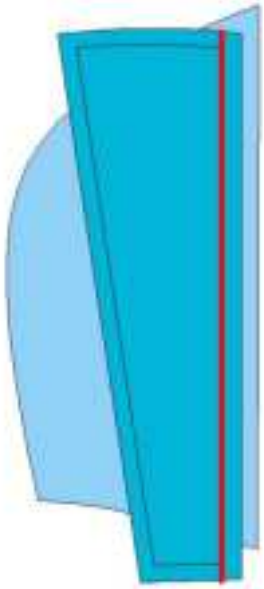
出来上がり線より、縫い代側を縫う。



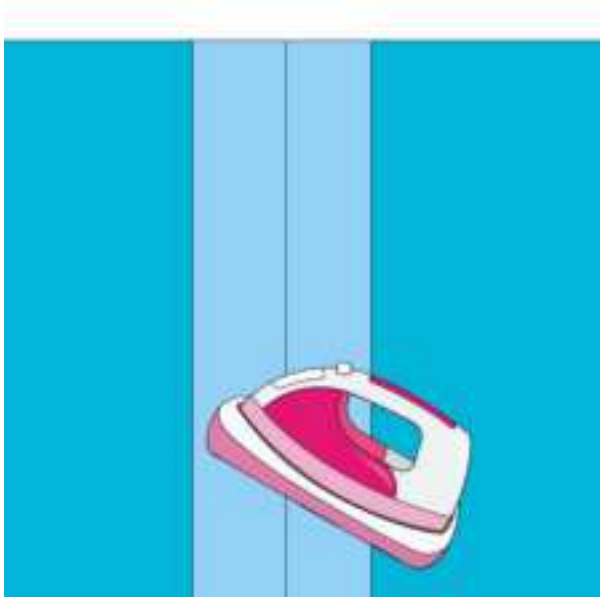
14. 表が内側になるように、

フード 1 とフード 2 を合わせて縫う。

フード 2 は上下を間違え易いので、
”耳パーツ付け位置”を目印に合わせると間違えにくい。

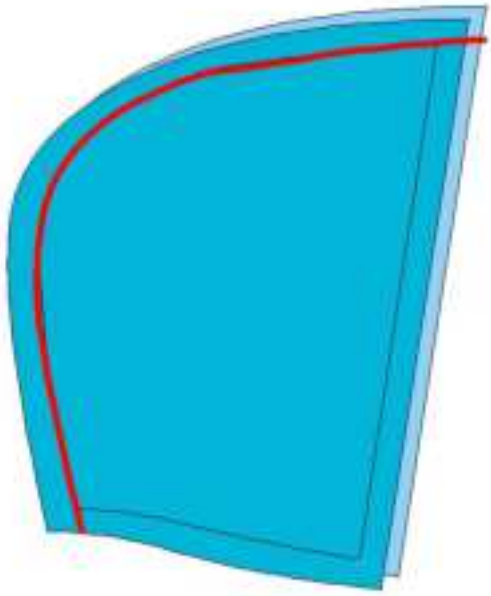


15. 縫い代を開いて、アイロンをかける。

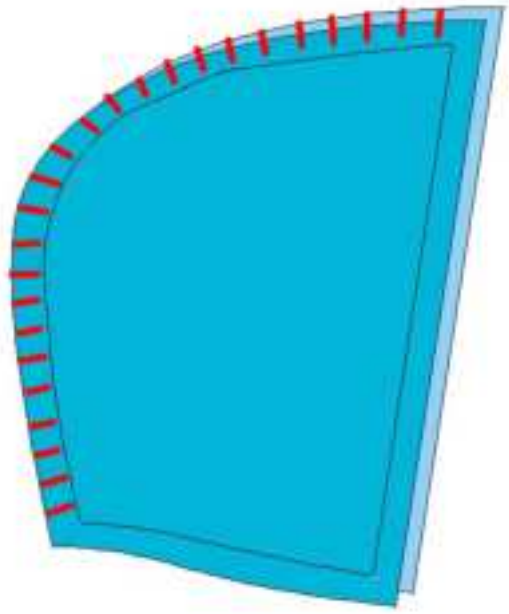


16. 反対側(12～15)も同じように作る。

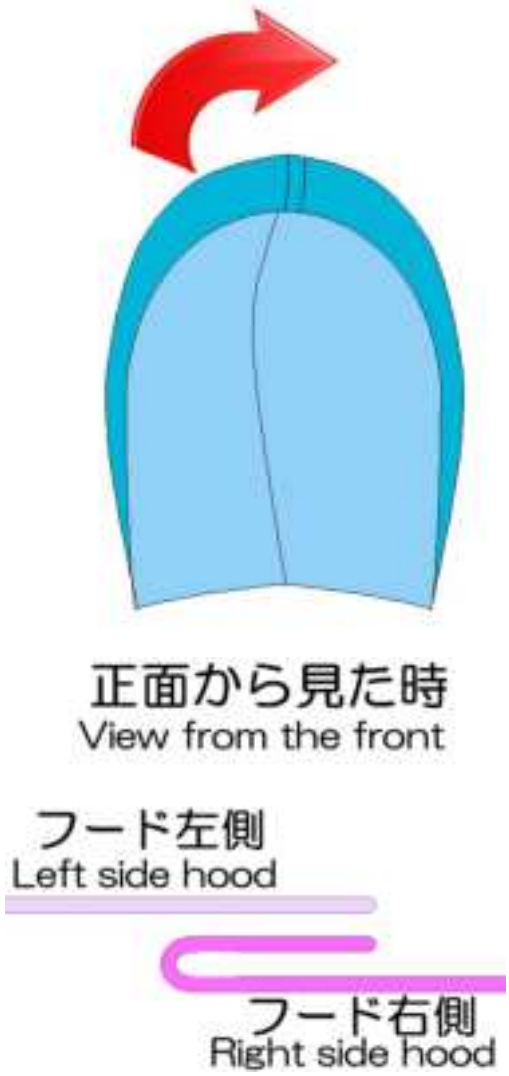
17. 表が内側になるように、フードを合わせて縫う。



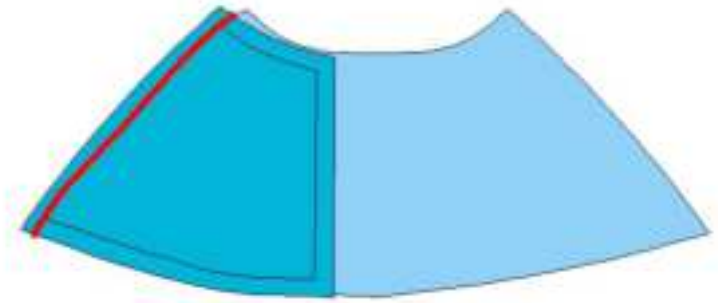
18. 縫い代に切り込みを入れる。



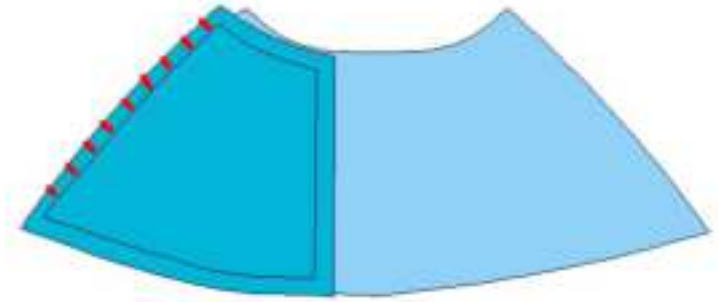
19. 縫い代を2枚一緒に向かって右に倒して、アイロンをかける。



20. 表が内側になるように、
前身頃と後身頃を合わせて縫う。
〔 反対側も同じように縫う。

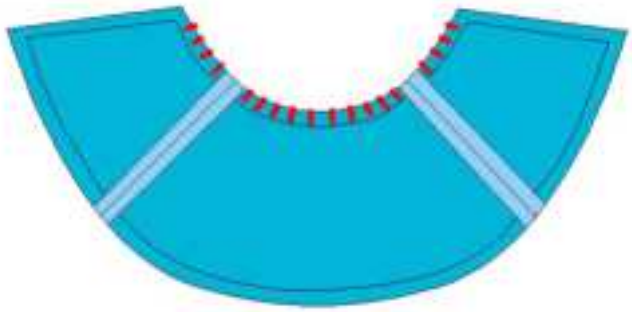


21. 縫い代に切り込みを入れる。
〔 反対側も同じように縫う。

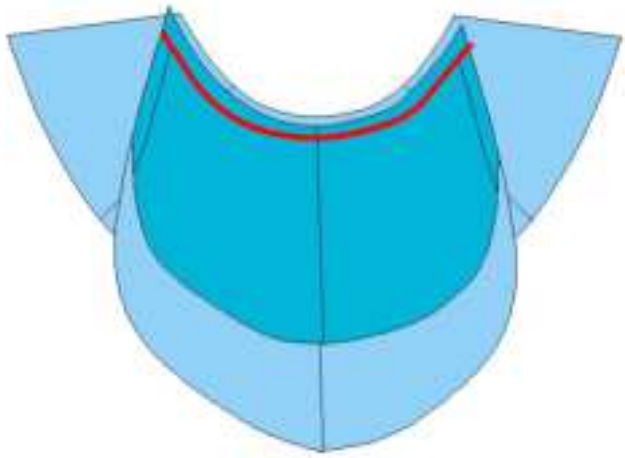


22. 縫い代を開いてアイロンをかける。

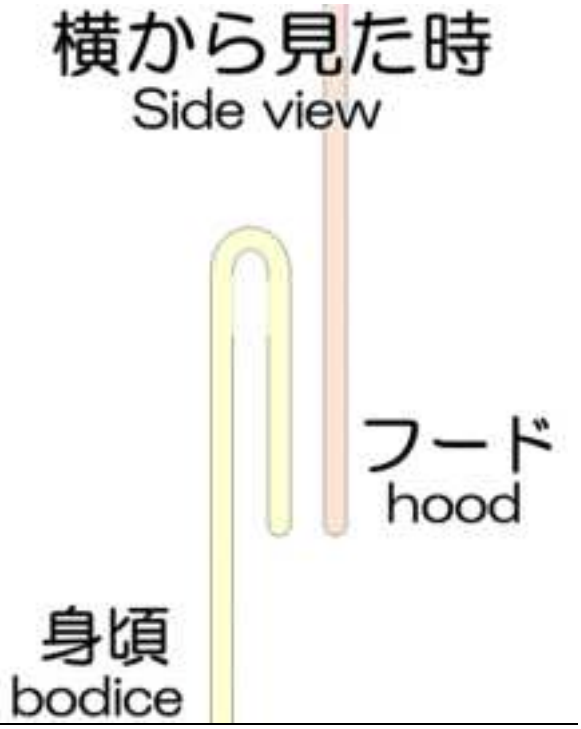
23. 襟ぐりの縫い代に切り込みを入れる。



24. 表が内側になるように、
身頃とフードを合わせて縫う。
身頃とフードの SNP、CB という表記を合わせる。
SNP:サイドネックポイント。肩の首の付け根。
CB: センターバック。後身頃の中心。

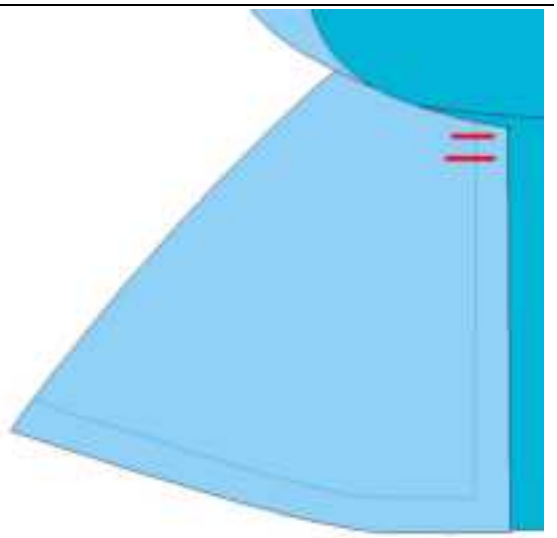


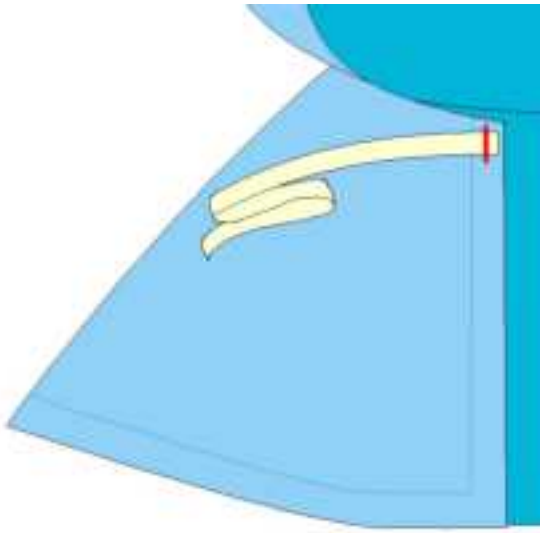
25. 縫い代を2枚一緒に身頃側に倒して、アイロンをかける。



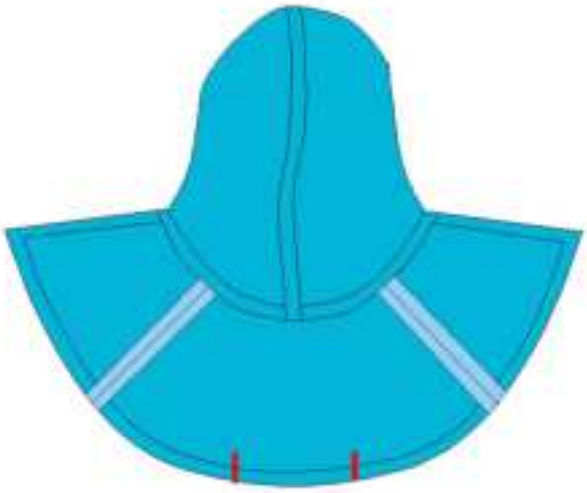
26. 裏布も同じように縫う。

27. ”リボン付け位置”にリボンを仮止めする。
表布にリボンを表にして合わせる。
反対側も同じように仮止めする。



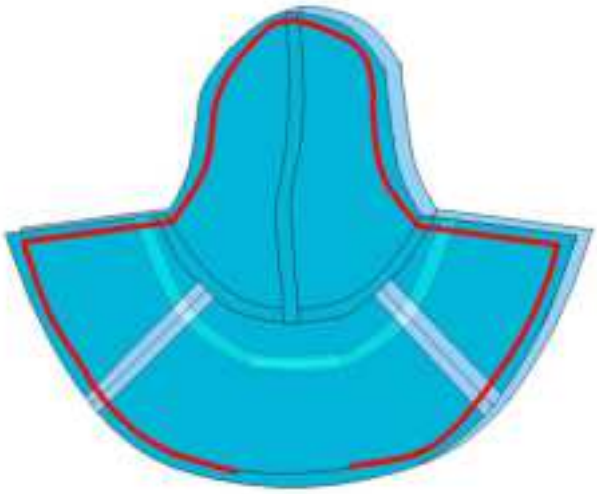


28. 裾の”開き”を折ってアイロンをかける。

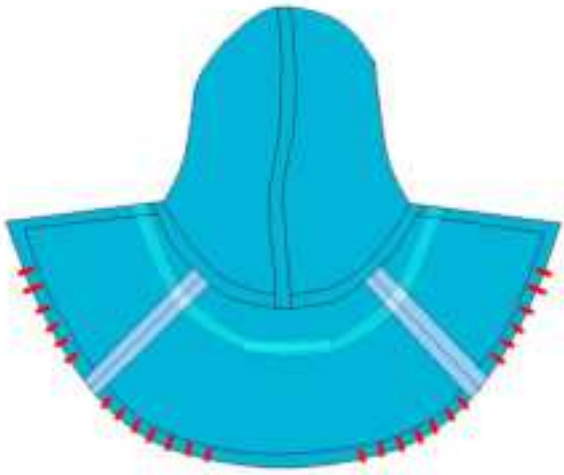


29. 表が内側になるように、表布と裏布を合わせて縫う。

裾の”開き”は縫わない。
リボンは内側に入れて、リボンの先や
途中を縫わない様に注意。

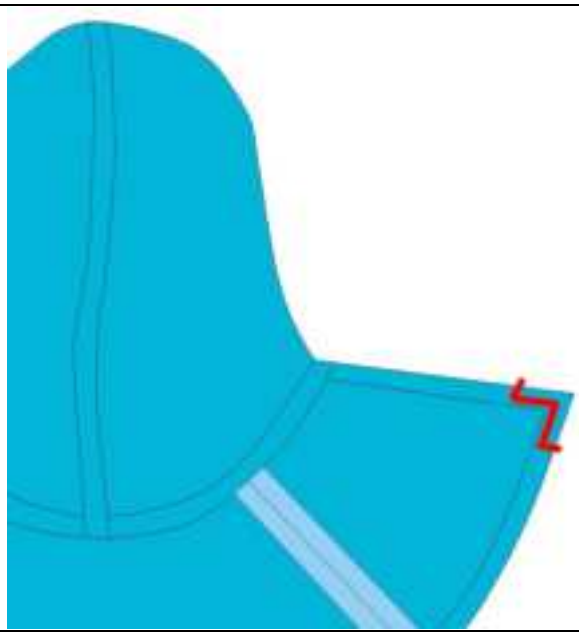


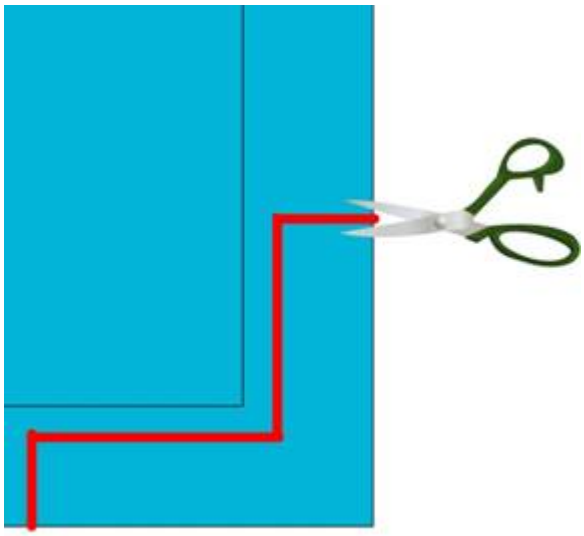
30. 裾に切り込みを入れる。



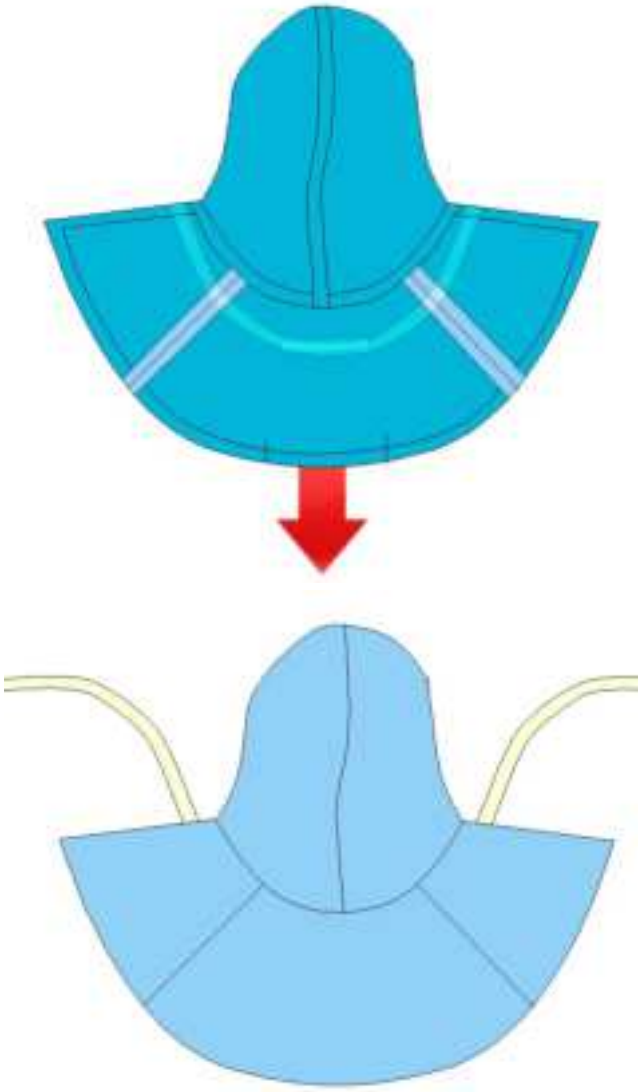
31. 前身頃の角をカットする。

反対側も同じようにカットする。



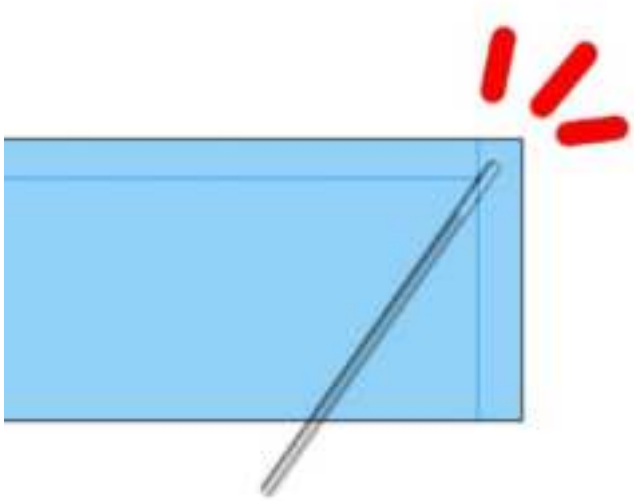


32. ”開き”から表にひっくり返す。



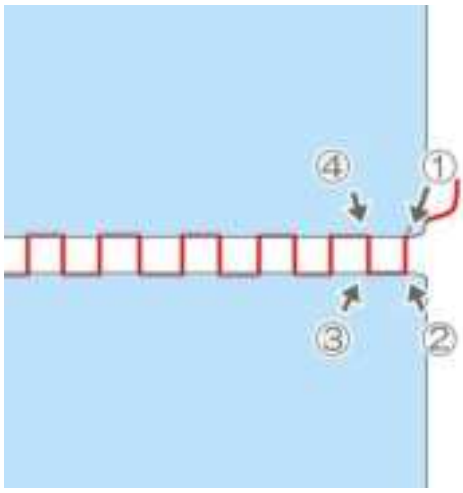
33. 太い針の“糸を通す方” で角を優しく押し出す。
布団等の太い針を使う。

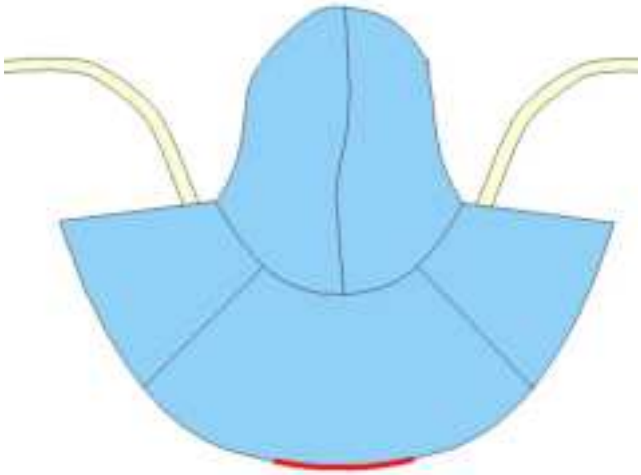
ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”
などでも代用出来る。
あくまでも優しく内側から押して角を出す。
強く押したり、尖ったもので押したりすると
貫通し布が傷む可能性も。



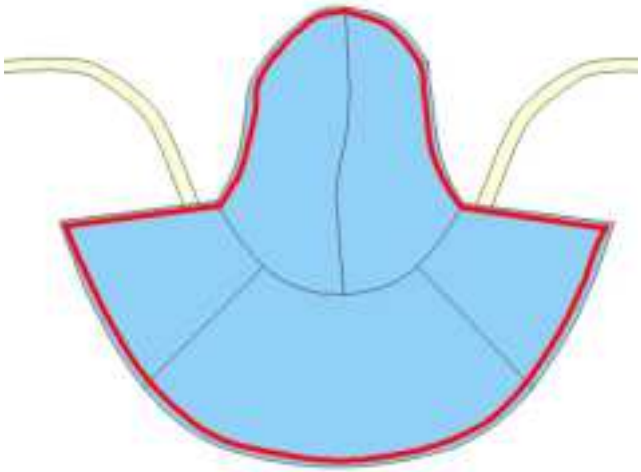
34. 裾の開きを”はしごかがり”でとじる。

① 布の裏側から針を刺す。
② 反対側に針を刺し、布を4mm 程すくう。
③ ②ですくった先から針を出す。
④ 反対側に針を刺す。
⑤ ①～④を繰り返す。
針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが
違う等のトラブルが起き辛い。





35. 縁を一周縫う。



お疲れ様でした！